

ニーズレター

(2013年 7月号)

グループホームネット 香川



7月

もくじ

- 理 事 長 巻 頭 言 (2)
- 新 人 職 員 あ い さ つ (3)
- 2 0 1 3 年 度 総 会 を 終 え て (4)
- 事 務 局 便 り (4)



理事長巻頭言



うちだはかる

市井の人たち

NPO法人 グループホームネット香川が目指すものとして、

1. 精神障害を持つ人・家族・専門家・行政・ボランティアなど、精神保健福祉に関心のある人々が、市民の立場から香川の精神保健福祉の向上のためにネットワーキングを作り、啓発活動、情報交換、研究活動に努める。
2. 精神障害をもつ人の社会参加を実現できる環境づくりに努める。

この目指すものを掲げながら2006年10月より、障害者自立支援法に基づき共同生活援助事業として仏生山町、宮脇町、春日町、百間町と四ヶ所の運営を行っています。

人はみんな当たり前前の生活を望んでいます。当たり前前の幸せを送りたいと願っています。私たちがそうであるように、精神障害を抱えている人も同じ様に、普通の生活を望んでいるのです。そのごく当たり前前のことの実現のために、グループホームの運営活動を続けています。

ですが、精神障害を抱えている人の一部の人たちは、「当たり前」から離れたところで生きているという現実があります。そのような人たちに「住居」を提供することで、「当たり前」を獲得してもらいたいと、グループホームネット香川を立ち上げました。長年の入院生活から「市井の中で暮らす生活者」として、グループホームを利用しています。

しかし、グループホームで生活する事が最終目的ではない様に思います。グループホームは一つの手段です。市井で暮らすための道具の一つです。奪われた「生活力」をグループホームで取り戻し自立する事が、本来の生活者としての姿ではないでしょうか。

自立とは、周囲の助けを上手に借りる事を意味します。わたし達がそうであるように、周りとの協働していくことで、生活の質は上がるものです。

それは、行政の利用であったり、医療の利用であったり、スーパーの惣菜売り場の利用であったりします。わたし達は、様々な社会制度の利用者なのです。

入居者の生活力の向上のため、各グループホームのホームワーカーの存在は欠かせません。ホームワーカー一人ひとりの資質が「鍵」を握っている事を、ここに留め置いてください。

そのための研鑽の過程を惜しむものではありません。

▼ △ ▼ △ **新人職員あいさつ** ▼ △ ▼ △

小松 亜紀

「マニュアルも正解もない」

4月11日に入社しました。小松亜紀と申します。ビアーズ2号館のホームワーカーとして3ヶ月が過ぎました。今までを振り返ってみたのですが嵐のように時間が経ち あまり記憶がないことに驚いています。

ホームワーカーという言葉自体もこの春まで知りませんでした。なので、もちろんどんなことをするのかもわかりませんでした。

なにも知らず わからず、共同部屋に居る「世話人さん」に宮脇の方々も戸惑って気を遣われているんじゃないかと不安に思っているというのが正直な気持ちです。

「マニュアルも正解もない仕事」これは面接で言われた言葉です。毎日の中で なにかがあった時は特にこの言葉が頭に浮かんできます。多少人見知りもして 話を聞くことはできて聞き出すのは苦手な性質で。

「なんだかいつもと雰囲気が違うんです。なにかあったのかなぁと思うんです」

「聞いてみた？」

「いいえ」

「気になるんだよね？」

「はい。ものすごく！」

「聞こうよそれは！」

こんなやりとりを何度したでしょうか。

遠慮の綱引きをしているような気持ちです。あんまり強く引くと嫌かもしれない。迷惑かもしれない。あまりよく知らない人間にあれこれ聞かれたくないかもしれない。人との距離感、私もつかめていません。ホームワーカーという立場でどんなふうに考えるのが正しいのかということも日々悩んでいます。

まだまだ迷ってばかりでこれからも迷い続けるんだろうなぁと思います。

難しいことはわかりませんが、なにがあってもその時その時で考え入居者さんにとって最良だと思える選択を出来るようにがんばりたいと思います。

▼△▼△ 2013年度総会を終えて ▼△▼△

増田 周作

2013年6月7日(金)に2013年度の定期総会が、行われました。

今年度から、決算や予算の書類について、NPOの法人会計が新基準に適合するように変更を行ったのですが、そのために会計士に相談をしたり、新しい会計ソフトの導入をしたり、様々な準備を行ってきました。

準備にあたり、ご協力してくださった方々、また会員みなさまに、改めてこの紙面をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。

「ありがとうございました」

2013年度は、さらに組織としての足腰を十分に整えつつ、新しく迎えた職員とともに、日々入居者と向き合いながら、工夫と想像をし、関わりを持っていけたらと思っています。

▼△▼△ 事務局便り ▼△▼△

岩佐 亜紀

当法人の前身である「香川の精神保健福祉を考える会」が、瀬戸内町に事務所を間借りして出発したのは1998年。掘り起こされたニーズのうち「生活の場を作る」というテーマに取り組んで、翌年にはグループホームの運営に乗り出し、今年度で15年目を迎えました。その間にNPOの認可を受け、専属の福祉職員を配置し、法人としての組織体制を整え、…ようやく運営形態において一定の安定が見えてきました。

一方で、気づけば現場職員や理事役員以外の、会員の皆様とのコミュニケーションが薄くなっています。地域の中で暮らすためのグループホームである限り、理解ある地域の隣人としての会員の皆様とのつながりは支援の重要な要素です。今この時期にもう一度、旧来の会員様との絆を見つめ直し、また新しい賛同者にグループホーム活動へのご関心とご協力を呼びかけたいと思います。

発足当時の熱気を思いながら・・・。

会員の皆様、今年度もご支援ご協力のほどよろしく申し上げます。特に従来のご賛助会員の方は、同封の振込用紙にて2013年度会費の納入をぜひともお願いいたします！

●年会費： 正会員 3,000円 賛助会員 2,000円 です！

グループホームネット 香川

(発行) 特定非営利活動法人 グループホームネット香川

連絡先： 香川県高松市円座町1124番地6 2階

TEL：087-885-5270 Fax：087-887-5955